令和2年度 部の運営方針書

環境生活部

1 部の運営方針

【部の使命】

●野犬による被害の防止や防犯活動、交通安全の推進等に取り組み、安全で安心して生活できるまちづくりを進めます。
●低炭素・循環型社会の実現に向け、二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みや3Rの推進を図ります。
●周南市人権行政基本方針に基づき、総合的な施策の推進・啓発を図ることにより、市民一人ひとりが尊重されるまちの実現を目指します。
●市役所を利用されるお客様へ、心のこもったサービスを提供します。

【部の目標】

①野犬を減らすための対策
「周南地域の野犬問題に関する連絡協議会」を軸とした県や警察等との連携のもと、県が行う野犬捕獲に協力するとともに、野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈りやむやみなエサやり禁止の徹底など、野犬による被害の防止を図ります。

②ごみの発生抑制・再使用・再資源化（3R）のさらなる推進
市民・事業者・行政及び関係団体が、マイバック持参によるレジ袋の削減や食品ロスの削減などを協働して取り組むことにより、3Rの推進を図ります。

③安心安全な暮らしの推進
自治会等が取り組む防犯灯の設置を支援し、暗くて通行に支障がある場所や通学路等における安全性の向上を図り、犯罪被害の防止に努めます。

④人権啓発の推進
「山口県人権推進指針」及び「周南市人権行政基本方針」に基づき、諸施策を総合的に啓発・推進します。

⑤心のこもった市民サービスの提供
「おもてなしの心」をもった窓口サービスの提供を行います。

【働き方改革による業務改善等の取組】

○業務スケジュールを活用し共有することで、計画的かつ効率的な業務の遂行と休暇取得の向上に努めます。
○職員個々の状況に応じ、育児短時間勤務や時差出勤制度等を活用することにより、ワークライフバランスの推進を図ります。
○ごみ処理やし尿処理に係る施設の機能移転や統合を進め、処理システムの効率化や経費の削減を図ります。
○人権啓発への取り組みを進める教育委員会人権教育課と連携を深め、人権講演会やセミナーの企画運営の効率化を図ります。

2 部の経営資源

（1）部の体制

職員数	133 人	うち	正職員	87 人	・	会計年度任用職員	46 人

人件費	正職員	638,928 千円	会計年度任用職員	90,586 千円

※H30職員平均給与（ 7,344 千円）ベース　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	582,355 千円	歳出予算額	5,698,305 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算小事業数	57 事業	担当課数	5 課

環境生活部

３　部の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ２　安心安全な暮らしの実現 （環境政策課）	野犬に対するエサやりパトロールの強化、野犬の捕獲器の貸出し、野犬通報アプリ等を活用し、住民と協働することで野犬を減らす対策に取り組みます。
2	８　環境共生 １　低炭素・循環型社会の実現 ４　3Rの推進と廃棄物の適正処理 （リサイクル推進課）	市民・事業者・行政及び関係団体が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再資源化に取り組み、ごみの減量化と再資源化を促進するとともに、ごみ施設等の適正な維持管理と効率的な運営を行います。
3	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ２　安心安全な暮らしの実現 （生活安全課）	自治会等のLED防犯灯及びカーブミラーの設置を支援することにより、市民生活の安全性の向上に努めます。
4	２　生涯学習・人権 ４　人権尊重社会の実現 １　人権教育・人権啓発の推進 （人権推進課）	市民に身近なところで講演会やイベント等を開催することにより、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図ります。 （R2目標：人権講座の新規参加率 50%）
5	９　都市経営 ２　適正かつ透明な行政運営の推進 １　適切な行政サービスの提供 （市民課）	市役所を利用するお客様に気持ちよく用件を済ませていただけるよう、市民全体の奉仕者として、職員の接遇知識の向上を図り、心のこもったサービスを提供します。
6	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ３　消費者安全の確保 （生活安全課）	複雑・高度化する相談に対応するため、消費生活相談員等の資質向上に努め、消費生活相談における助言やあっせん等を実施することにより、消費者被害を未然に防止します。また、「周南市消費者見守りネットワーク協議会」を通じた活動により、高齢者・障害者等の消費生活を見守ります。
7	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 １　防犯運動・交通安全運動の推進 （生活安全課）	警察や周南市交通安全対策推進協議会等と連携し、防犯パトロールや消費者被害拡大防止等の取組を実施します。また、「交通事故0の日」周知や高齢者等の交通事故未然防止に向けた取り組みを行うとともに、交通教育センターでの交通安全教育の実施を通じて、安心して生活できるまちづくりを推進します。
8	４　安心安全 ３　市民生活の安全性の向上 ３　消費者安全の確保 （生活安全課）	消費者被害の未然防止・早期発見に向けた啓発活動を実施するとともに、各年代に応じた消費者教育を推進することにより、自立した消費者の育成を図ります。

環境生活部

目標	推進施策	実現したい成果 （最終目標）
9	２ 生涯学習・人権 ４ 人権尊重社会の実現 ２ 男女共同参画社会の推進 （人権推進課）	男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野へ参画する男女共同参画社会の実現に向け、意識啓発を図ります。 （R2目標：講座等参加者 1,780人）
10	８ 環境共生 １ 低炭素・循環型社会の実現 ３ 環境教育・啓発の推進 （リサイクル推進課）	環境館を啓発活動の拠点として、体験を通じた啓発や情報発信による啓発を推進していくとともに、市内環境衛生推進団体の活動を支援し、連携した取り組みを展開します。
11	８ 環境共生 １ 低炭素・循環型社会の実現 １ 低炭素社会の構築 （環境政策課）	市の二酸化炭素排出量削減に努めます。
12	８ 環境共生 ２ 環境保全の推進 １ 自然環境の保全と再生 （環境政策課）	浄化槽設置に対する支援等、生活排水の浄化対策を行い、公共用水域の水質保全や公衆衛生の向上に努めます。
13	７ 生活基盤 ４ 水道の安定供給と下水道の充実 ４ 上下水道事業の経営の安定化 （環境政策課）	上下水道事業における必要額を一般会計において負担し、安定運営を図ります。
14	７ 生活基盤 ４ 水道の安定供給と下水道の充実 １ 安全な給水の確保 （環境政策課）	補償施設として設置された施設の維持管理を行い、安定した飲料水を提供します。